

安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震

・平成13年（2001年）芸予地震

1905年の明治の芸予地震から約100年後の2001年3月24日に発生した平成13年（2001年）芸予地震(マグニチュード6.7 深さ51km)では、広島県で最大震度6弱を観測しました(図1)。この地震により広島県内では死者1名、負傷者193名、住家全壊56棟などの被害が生じた。(平成14年9月24日総務省消防庁調べ)また、県内では広い範囲で斜面が崩壊したり道路・港湾に亀裂が生じたほか、液状化現象などの被害も見られました。

その後の地震活動では、2日後の2001年3月26日05時40分にマグニチュード5.2の地震が発生し、県内で最大震度5強を観測しました(図2)。

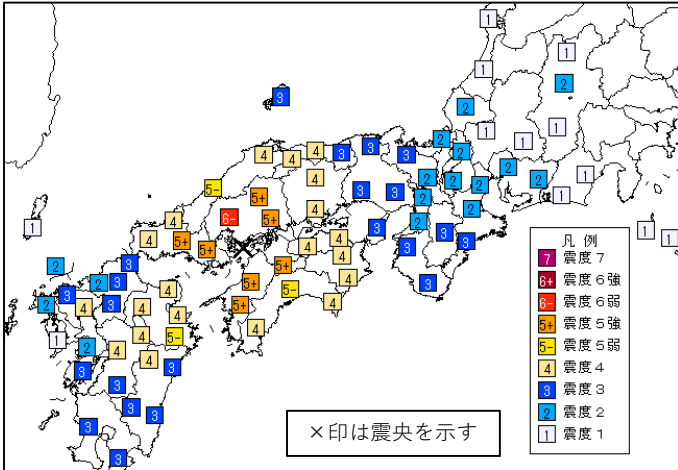


図1 「平成13年（2001年）芸予地震」の地域震度分布図

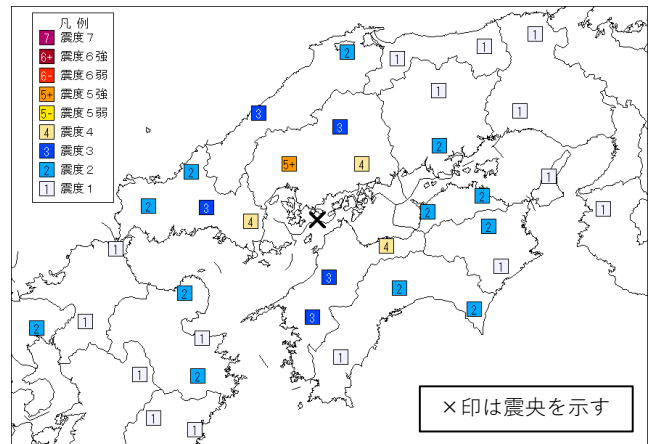


図2 「平成13年（2001年）芸予地震」の2日後の3月26日05時40分に発生した安芸灘の地震の地域震度分布図

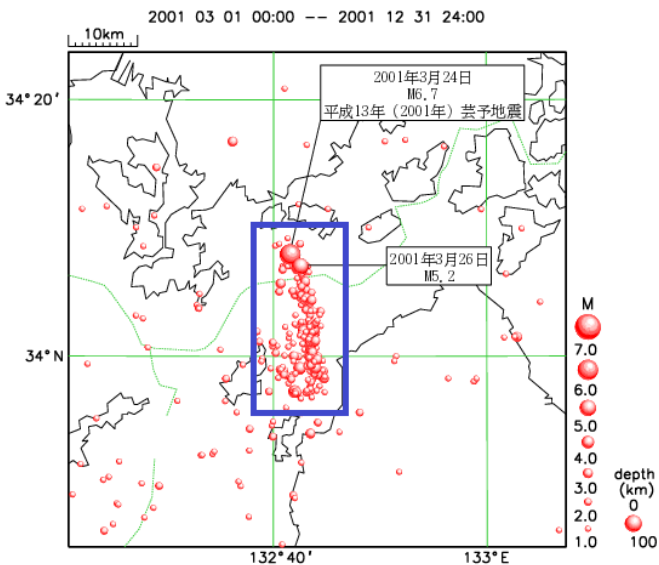


図3 震央分布図
(2001年3月1日～2001年12月31日、M \geq 1.0、深さ \leq 100km)

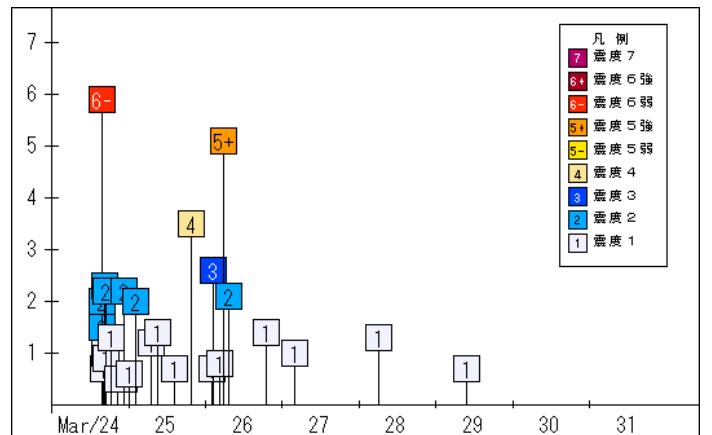


図5 図3の青枠内の地震活動により広島県内で震度1以上を観測した時系列図(2001年3月24日～3月31日)
縦軸は震度 横軸は期間を示す

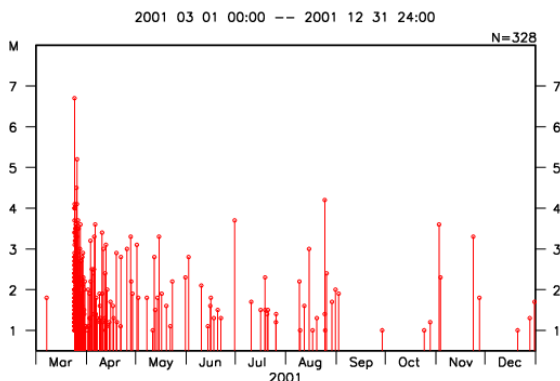


図4 図3の青枠内の地震活動経過図
縦軸はマグニチュード 横軸は期間を示す



落石



石垣の崩れ

被害写真
気象庁現地調査資料より